

8 試験場での注意

8-1 学部別入学試験

1. 試験場の入退場

【入場】

- (1) **受験票はUCAROから各自で印刷のうえ必ず持参してください** (43ページ参照)。入場の際、受験票の提示が必要です。
- (2) **受験生の試験場(教室)集合時刻は、1時限目開始の30分前(午前9時30分)です**。試験会場周辺の公共交通機関に遅れが生じ、試験に影響があると本学が判断した場合は、試験開始時間を繰り下げることがあります。ただし、試験開始時間を繰り下げた場合であっても試験の進行上、繰り下げ時間には限度がありますのでご了承ください。
- (3) 試験場の開門は、午前8時30分です。
- (4) 試験開始25分前に、受験者の出席確認、顔写真の照合、受験に際しての重要な説明を行いますので、必ず早めに入室してください。

【退場】

- (1) **試験時間中の途中退場は、最終時限も含めて認めません。なお、試験放棄者は全科目無効(合否判定対象外)となります。**
- (2) **休憩時間・昼食時間の構外への外出はできません。**
- (3) 試験当日の状況により、終了後の退出について、混雑による事故を防ぐため、時差退出を行う場合があります。監督者・係員の指示に従って退出してください。事故防止のため、ご協力をお願いします。
- (4) 試験場から最寄駅までの道のりは大変混雑しますので、当日中に遠方へ帰る方で、事前に交通機関の手配をされる場合は、時間に十分な余裕を持ってください。

【遅刻】

- (1) 1時限目の試験開始後30分まで受験を認めますが、上記「【入場】(4)」の説明等が受けられませんので、早めに試験場に到着できるよう努めてください。30分経過後は、1時限目だけでなく2時限目以降の受験もできません。なお、1時限目を受験した場合で、2時限目以降において試験開始後30分までに試験場へ入室できない場合は、当該時限以降の受験はできません。
- (2) 天候の悪化、交通機関の事故・ストライキ等の不測の事態により試験開始時刻を繰り下げた場合は、遅刻を認めないことがあります。

【その他】

- (1) 上履きを持参する必要はありません。
- (2) **試験当日の昼食は、各自持参してください。**
- (3) **保護者の控室は、用意しておりません。また構内にも入れません。**
- (4) **駐輪・駐車場を用意しておりませんので、自転車・自動車の利用はご遠慮ください。また、試験会場周辺の交通の妨げとなりますので、自動車での送迎はご遠慮ください。**
- (5) 試験場内は禁煙です。
- (6) 自然災害や火災・停電・公共交通機関遅延等の不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、試験時間の繰り下げ、試験会場の変更および日程の延期等の措置をとることがあります。なお、このことに伴う受験生の個人的不利益について、本学は一切その責任を負いません。
- (7) 自然災害や交通機関の事故・運休・遅延・ストライキ等の不測の事態が発生しても、試験時間繰り下げ等の措置を講ずることができない場合があります。遠距離移動がある場合や悪天候等が予想される場合には、あらかじめ試験場付近に宿泊場所を確保する等の対策を講じてください。なお、これらのことによって生じた受験生の負担費用、その他個人的不利益について、本学は一切その責任を負いません。
- (8) 試験期間中は、本学内のATMは使用できません。
- (9) 試験場内での手荷物預かりは行いません。キャリーバッグ等の大型荷物は、あらかじめコインロッカー等を利用し預け入れてから来場してください。

8-1 学部別入学試験

2. 試験場一覧

- (1) 受験票にて指定された試験場以外での受験は認めませんので、受験票において、試験場をよく確認してください。受験票の公開予定日時については43ページを参照してください。
- (2) 試験場は、学部・学科・選択受験科目により、原則として下表のように指定します。ただし、収容人数を超過した場合は、他のキャンパスになることがあります。UCAROで公開される受験票を取得した際に、キャンパスを必ず確認してください。
- (3) 試験場の下見（キャンパスの位置確認）時に、構内には入れません。
- (4) 以下の試験場以外を使用する場合は、受験票に試験場を掲載しますので、その指示に従ってください。
- (5) 学部別入学試験は、地方会場では実施しません。

学部	試験場	駿河台キャンパス	和泉キャンパス	生田キャンパス	中野キャンパス
法 学 部		世界史B、政治・経済	日本史B		
商 学 部		世界史B、数学	日本史B、地理B、政治・経済		
政 治 経 済 学 部		日本史B、政治・経済	世界史B、地理B、数学		
文 学 部		日本史B※	世界史B、地理B、(日本史B)※		
	※日本史Bの試験場は、駿河台キャンパスですが、駿河台キャンパスの収容人数を超過した場合は、和泉キャンパスを使用することがあります。指定する試験場（キャンパス）は、受験票にてお知らせします。				
理 工 学 部	概ね本学での必要書類受付完了順に、 ①駿河台キャンパス、②和泉キャンパス、③生田キャンパスの順番で指定します。 指定する試験場（キャンパス）は、受験票にてお知らせします。 なお、全学部統一入学試験と異なり、試験場（キャンパス）の選択はできません。				
農 学 部	食料環境政策学科	農学科 農芸化学科 生命科学科			
経 営 学 部	世界史B、数学	日本史B、政治・経済			
情報コミュニケーション学部	世界史B、政治・経済、数学	日本史B			
国 際 日 本 学 部		世界史B、日本史B			
総 合 数 理 学 部	全学科				

8-1 学部別入学試験

3. 入学試験実施に関する情報(降雪・事故等による交通機関の混乱)

入学試験の実施に関する情報および次回情報更新予定時刻について、各学部学部別入学試験前日の午後6時(予定)から、明治大学ホームページ(https://www.meiji.ac.jp/)にて掲出します。

4. 受験票の再交付

試験当日に受験票を紛失した等の場合は、試験会場の係員に申し出てください。なお、発行には約15分を要します。

5. 受験上の注意

【筆記用具・その他】

使用を認めるもの
<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆(HB・黒)、鉛筆キャップ ・シャープペンシル(HB・黒) ・プラスチック製の消しゴム ・鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可) ・時計、ストップウォッチ(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可) ・眼鏡、ハンカチ(文字や地図等がプリントされているものは不可)、目薬、ティッシュペーパー(袋または箱から身だけ取り出したもの) <p>※時計は試験場には設置されていません。</p>
使用を認めないもの(例)
<ul style="list-style-type: none"> ・ラインマーカー、カラーペン、色鉛筆 ・耳栓 ・下敷 ・電子辞書、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチ等)、タブレット端末、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類(試験場に入る前にアラーム設定解除のうえ電源を切り、カバンにしまってください) ・定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具 ・詩歌・格言等が記されている鉛筆 <p>※正答を示唆する可能性があるものは、原則として使用を認めません。</p>

【服装】

- (1) **文字や地図がプリントされている衣服の着用は、認めません。** 万一着用している場合は、監督者の指示に従ってください(着用している場合には、脱いでもらうことがあります)。
- (2) 試験教室内の室温の調整には留意しますが、快適に感じる室温には個人差があることや、座席位置により温度差が生じる場合がありますので、**試験当日は温度調節の可能な服装を心がけてください。** ただし、帽子・マフラー・ストールは原則として使用できません。



【解答用紙】

「ドイツ語」・「フランス語」を除き、マークシート式解答用紙を使用します。出題形式は学部・科目により、マーク解答のみの場合、あるいはマーク解答と記述解答を併用する場合があります。

【マークシートの使用方法】

- (1) **鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)**で記入してください。
- (2) 解答を訂正する場合は、**プラスチック製の消しゴム**を使用してください。
- (3) 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりせず、指定された場所以外には、記入しないでください。

【マーク記入例】

良い例		マーク全体を濃く塗り潰す。
悪い例		マーク欄の一部分に印を付けたり、薄く塗る。
正解マーク例	① ② ● ④ ⑤	5つの選択肢から、3番を正解としてマークした例

8-1 学部別入学試験

【試験時間中】

(1) 試験場内(教室)での全般的注意事項

- ①受験票は、必ず持参し、四つ折にしA面を上にして机の上に置いてください。
- ②試験問題の内容に関する質問には、一切答えません。
- ③特別な事情で事前に申請があり、なおかつ本学が認めた者を除き、帽子等を着用しての受験はできません。
- ④体調が悪くなったとき、または気分が悪くなったときは、早めに黙って挙手してください。ただし、**診療所での受験や試験時間の延長は、一切できません。**
- ⑤医師や保護者の介添を必要とする受験はできません。
- ⑥**時計・携帯電話・スマートフォン等のアラーム設定を解除してください。携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末(スマートウォッチ等)は電源を切り、カバン等にしまってください。時計としての使用も認めません。**カバン等の中で携帯電話・スマートフォン等が鳴動した場合は、監督者が本人の了解を得ずにカバン等を試験場の外に持ち出すことがあります。
- ⑦日常的な生活騒音等(監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打ち合わせ、航空機・自動車・風雨・空調・エレベーター・エスカレーターの動作の音、工事の音、周囲の受験生の咳・くしゃみ・鼻をすする音、時計・携帯電話・スマートフォン等の鳴動等)が発生した場合でも原則として救済措置は行いません。監督者が試験中断を指示しない限り解答を続けてください。
- ⑧試験時間中の飲食(ガム等を含む)は、原則として禁止します。
- ⑨トイレや発病等により、試験時間中に隣席の受験者が途中離席する場合は、席を立ていただくことがあります。その場合でも、原則として救済措置は行いません。

(2) 周囲の受験生に迷惑となる行為について

周囲の受験生に迷惑となる行為(身体をゆする行為等)を行った場合は、別室受験を求めることがあります。また、監督者の注意や指示に従わない場合は、試験場内から退出を求めることがあります。試験場内から退出となった場合は、それ以降の受験および当該年度における本学のすべての入学試験の受験を認めません。その際、入学検定料の返還は行いません。

(3) 不正行為および不正行為が疑われる行為について

- ①**カンニングペーパーを使ったり、他人の答案をのぞき見たりする等の不正行為または不正行為が疑われる場合は、答案を無効にすることがあります。**試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチ等)、イヤホン等を身に付けていたり手に持っていたり、着信音が鳴ったりする等も同様です。
- ②**不正行為があるとみなされた場合は、以下の対応をとります。**なお、この取り扱いに伴う入学検定料の返還は行いません。
 - ・当日の入学試験の全教科・科目に加え、すでに受験した本学の当該年度入学試験の全教科・科目の得点を無効とします(大学入学共通テスト利用入学試験についても全教科・科目の得点を無効とします)。
 - ・すでに合格した本学の当該年度入学試験がある場合、合格を取り消します。
 - ・不正行為があるとみなされた時限以降の受験および当該年度における本学のすべての入学試験の受験を認めません。
- ③不正行為については、状況により警察へ被害届を提出する等の対応をとる場合があります。

6. 遺失物

試験終了後、忘れ物がないか確認してから退場してください。忘れ物をした場合には、以下まで問い合わせてください。

■遺失物問い合わせ先

	試験場(キャンパス)	電話番号
試験期間中	駿河台	03-3296-4445・4594 (リバティタワー防災センター)
	和泉	03-5300-1122 (正門守衛所)
	生田	044-934-7593 (中央校舎守衛所)
試験期間後	駿河台	03-3296-4206 (学生支援事務室)
	和泉	03-5300-1177 (和泉学生支援事務室)
	生田	044-934-7579 (生田学生支援事務室)

試験場周辺で、パンフレット類の配布や各種勧誘を行う者がいますが、本学とは無関係です。これらの勧誘に応じたり、氏名・連絡先等を教えたりしたことにより発生した事故に対して、本学は一切の責任を負いませんので、注意してください。